

令和 2年度 基本事業評価シート（令和元年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 04 健康づくりの推進
基本事業 02 健康的な生活習慣の推進
主管課： 保健センター
関係課： 国保年金課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 市民が、自ら進んで生活習慣に気を付け、健康的な生活を営むことができるようにする。
------------------------	---

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

1年に1回健診を受けている市民の割合（％） 保健センター					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
79.60	80.40	81.10	82.00		80.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度と比較し0.7ポイントの増で、目標値を超える81.1%となりました。 （原因）年代別では、40歳代が86.0％、50歳代が89.6％、職業別では、事務職が90.0％、専門的技術職が91.5％など高い割合になっていることから、主に職域健診により受診している方が多いと考えられます。今後も引き続き、健診受診率を維持、向上させるための対策を継続する必要があります。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題とする				

この1年間でがん検診を受診した市民の割合（％） 保健センター					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
50.00	51.00	48.10	50.00		55.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度と比較し2.9ポイント減の48.1%となりました。 （原因）女性の受診率が56.7%に対し、男性の受診率が35.6%と低い状況です。また、女性は、乳がん及び子宮がん検診の受診率は高いものの、胃がん、大腸がん及び肺がん検診の受診率は低い傾向です。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

市民の健康習慣平均実践項目数（個） 保健センター					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
5.30	2.70	3.30	4.00		5.50
向上指針	上がると良い	（状況）一人あたりの健康習慣平均実績項目数は、0.6個増の3.3となりました。 （原因）50歳代以降は比較的、健康習慣の実施率が高く、20歳から40歳代の若い世代が低い傾向にあります。特に運動習慣及び食事の塩分を控えることを意識している割合は10%台、または10%未満と低い状況です。			
対前年度	向上				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

